

くらしと中小企業あたたため、 大阪再生をめざします

日本共産党



府民の暮らしも、商店街や町工場の営業も、大阪は全国的にみても深刻です。いままでの自民党政治が、派遣労働の自由化など格差と貧困を広げたことが原因です。

その上、大阪では、自民や民主が支える「オール与党」府政が、困っている府民生活や中小企業の対策には手を抜いて、「大企業を呼び込めば、雇用も増え、中小企業の仕事も増える」と、ベイエリアや、関西国際空港などの大型開発に多額の税金を投入して大失敗してきました。橋下知事も「大企業に儲けてもらうことが大阪府の仕事」と、古い政治を引き継いでいます。

日本共産党は、こうしたやり方を転換し、くらしと中小企業を直接支援し、大阪経済の再生をめざします。

福祉、医療、子育て支援、教育を充実します



福祉などの充実、くらしを守る上でも、家計を温め景気を回復する上でも決定的。雇用を増やす上でも重要です。

日本共産党は、福祉医療の充実や、こども医療費無料制度の拡充、介護保険料・利用料の減免制度の充実、国保料の引き下げ、保育所の充実などを、大阪府と市町村の協力ですすめます。

中小企業への援助を強めます

中小企業は大阪経済の主役。融資の充実、新製品や新しい加工技術の開発と販路拡大への支援を強めます。また、仕事が急減した製造業者に対しては、貸し工場の家賃など固定費を軽減することや、休止している工場の固定資産税減免など、町工場を守ります。



すぐれた歴史遺産や文化を生かし、 世界から人が集う活気あるまちづくり

大阪城や四天王寺、難波の宮などの歴史遺産、近松・西鶴などの上方文学、上方落語、歌舞伎、文楽など古典・郷土芸能、漫才や落語などの大衆芸能、`食い倒れ、の言葉に代表される豊かな食文化などは大きな魅力です。日本共産党は、こうした「大阪の良さ」を大切に、世界から多くの人々が訪れる賑わいのあるまちづくりを進めます。

財政再建、議会改革をすすめます

国に対し、都道府県がきちんと仕事ができるように、財源を保障することを求めます。また、750億円赤字の箕面森町建設や府庁WTC移転など、ムダ遣いをなくし、府民本位の財政再建をめざします。議員報酬を府民の納得できる額に引き下げるなど、信頼される議会改革をすすめます。



議員・候補者
写真

肩書き・名前